

## 数値目標

観光による消費を高め、観光産業を活性化させていくことを基本理念とすることから、次の成果指標の達成を目指します。

### 1 観光客数を増やす

栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査の指標を用いて、次のとおり目標を設定します。

**観光客入込数** 平成26年 **8,712万人** ➡ 平成32年 **9,700万人**

過去の伸び率等を踏まえ、平成26年から約1,000万人増を目指します。

**観光客宿泊数** 平成26年 **788万人** ➡ 平成32年 **880万人**

過去の最高値を踏まえ、平成26年から約100万人増を目指します。

**外国人宿泊数** 平成26年 **14.6万人** ➡ 平成32年 **30万人**

訪日外国人旅行者数の伸び等を踏まえ、平成26年からの倍増を目指します。

### 2 観光消費額を増やす

全国共通の基準による観光統計（観光庁「共通基準による全国観光入込客統計」）の指標を用いて、次のとおり目標を設定します。

**観光消費額** 平成26年 **4,684億円** ➡ 平成32年 **5,240億円**

観光客入込数・宿泊数の目標値や観光消費額の動向等を踏まえ、平成26年から約12%の増加を目指します。

# とちぎ観光立県戦略

平成28年3月

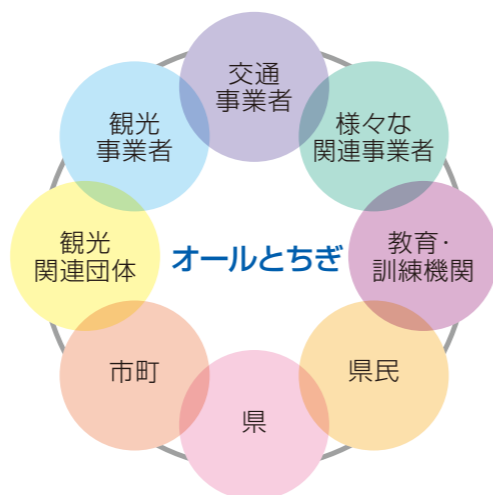
概要版

## 戦略の推進に向けて

### 1 各主体の役割

「観光立県とちぎ」の実現には、県、市町、観光関連団体、観光事業者や交通事業者、県民等が本県観光の目指すべき将来像について理解を深め、それぞれの役割を果たしながら相互に連携して、各種施策に取り組んでいく必要があります。

県としては、今後の観光振興の施策展開の指針として示す本戦略の趣旨や内容の周知を行いながら、オールとちぎによる「観光立県とちぎ」づくりを展開します。



### 2 庁内の推進体制等

- ① 「観光立県とちぎ推進本部」において、本戦略の施策を総合的に推進します。
- ② 施策の進捗状況を毎年点検し、「観光立県とちぎ推進本部」においてフォローアップしていきます。
- ③ 数値目標に掲げた項目の結果については、毎年、公表していきます。

## “本物の出会い 栃木”から始まる地方創生



# とちぎ観光立県戦略の概要



## 策定の趣旨等

- 1 策定の趣旨 ———— 更なる観光振興を図るため、県が今後5年間に取り組むべき施策の方向性を明らかにするとともに、県、市町、観光事業者、観光関連団体、県民等が互いに協働して取り組むための新たな指針として策定します。
- 2 戦略の位置づけ ———— ①本県の観光振興に関する基本的な指針となる計画 ②「とちぎ元気発信プラン」等を踏まえた計画 ③「とちぎ産業成長戦略」等と調和が保たれた計画 ④観光立国推進基本法における地方公共団体の責務を果たす上で基本となる計画
- 3 戦略の計画期間 ———— 平成28年度(2016年度)～平成32年度(2020年度)(5年間)

## 本県観光を取り巻く社会経済情勢の変化

1. 人口減少・超高齢社会の到来と地方創生
2. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定
3. 急増する外国人旅行者と縮小傾向にある国内観光需要
4. 情報通信端末の急速な普及と情報通信技術の高度化
5. 本県への交通アクセスの向上

## 本県観光の特徴

- ◇ 平成26年の観光客入込数、外国人宿泊数は過去最高。観光客宿泊数は、東日本大震災からの回復状況に地域差がみられる。
- ◇ 東京圏からの国内旅行者が多く、5年前に比べ、宿泊日数や消費支出は減少している。
- ◇ 訪県外国人旅行者の多くは東京に宿泊し、本県を訪れた目的や満足度は、国・地域ごとに差がみられる。

## 本県観光の課題

<b>1 観光地の魅力づくりに向けて</b> ○滞在コンテンツの充実やテーマ性・ストーリー性のある周遊ルート形成による滞在時間・日数の長期化や消費喚起 など	<b>2 情報発信・誘客宣伝の強化に向けて</b> ○ターゲットを明確にした戦略的な情報発信 ○広域連携によるプロモーションの強化 など
<b>3 観光客の満足度の向上に向けて</b> ○誰もが安心して旅行を楽しむことのできる観光地づくり ○案内標識の多言語化など外国人観光客の受入環境整備 ○県全体でお客様をお迎えする機運の醸成 など	<b>4 観光産業の活性化に向けて</b> ○観光を支える人材の確保・育成 ○地域が主体となった観光地づくりの推進主体の形成 ○観光事業者、観光関連団体の活性化 など

## 目指すべき将来像、観光振興の基本理念、基本方向

### 目指すべき将来像

地域資源等の活用により本県のブランド力が高まり、国内外から多くの人々が観光などで来訪・周遊し、県内ににぎわいがあふれている

### 観光振興の基本理念

**観光で活力あふれる地域づくり!**

～“本物の出会い 栃木”から始まる地方創生～

### 観光振興施策の基本方向

<b>基本方向Ⅰ</b> とちぎの魅力で“惹きつける”
<b>基本方向Ⅱ</b> とちぎの魅力で“呼び込む”
<b>基本方向Ⅲ</b> とちぎの魅力で“もてなす”
<b>基本方向Ⅳ</b> みんなで“創る”観光立県とちぎ

## 施策展開【観光立県とちぎプロジェクト】

<b>戦略的な観光誘客の推進</b>	<b>国内誘客の推進</b> ①地域資源を活用した年間を通じて終日楽しめる観光コンテンツづくり ②本県ならではのテーマやストーリーの設定等による周遊観光の促進 ③とちぎの“食”の魅力を活かした誘客の推進 ④ターゲットを定めた効果的な観光情報の発信 ⑤「アンテナショップ」や「道の駅」などを核とした観光情報の発信 ⑥大型観光キャンペーン等による集中的な誘客宣伝活動の展開 ⑦利便性の高い交通アクセスを活かした広域周遊観光の促進
<b>魅力と活気ある「地域・ひと・しごと」づくり</b>	<b>海外誘客の強化*</b> ①外国人観光客を惹きつける観光コンテンツづくり ②ICTや海外メディアの活用等による世界に向けた情報発信 ③有望市場に向けた観光誘客プロモーションの展開 ④海外での認知度向上や周遊観光の促進に向けた広域連携の強化
<b>魅力と活気ある「地域・ひと・しごと」づくり</b>	<b>観光客の受入態勢の整備*</b> ①オール栃木体制による「おもてなし」の向上 ②誰もが安心して快適に観光できる旅行環境の整備 ③多言語対応や公衆無線LAN環境など外国人観光客の受入環境の整備
<b>魅力と活気ある「地域・ひと・しごと」づくり</b>	<b>地域主体の観光地づくりの促進</b> ①地域の観光振興の担い手となる観光人材の育成・確保 ②観光産業の競争力の強化 ③地域が主体となった観光地づくりの推進主体となるDMOの形成促進

\* 海外誘客の強化①～④と観光客の受入態勢の整備③については、「世界に通用する魅力ある観光地づくりプログラム」(平成28年3月策定)に基づき、具体的な取組を推進します。